

中小企業診断士の視点

第29回 転ばぬ先の「リスク対策」



中小企業診断士 相澤 英生
一社) 埼玉県中小企業診断協会

2018年の夏は、集中豪雨や台風、土砂災害など、多くの自然災害が発生しました。被災されました皆様には、お見舞いを申し上げます。また、これからは秋の長雨や本格的な台風シーズンを迎えるため、まだまだ油断できない状況にあります。

さて、今回は「リスク対策」について取り上げます。「リスク対策」というと、「いろいろ考えなければならぬから面倒だな」とか「大事なのは分かっているけど、日々の経営でそれどころではないよ」と思われる経営者も少なくないでしょう。たしかに、売上高に直結するものではありませんから、どうしても後回しになってしまいがちです。

ところで、皆さんは外出される際に、天気予報をチェックして、「雨が降りそうだな」となれば、傘を持ったり、滑りにくい靴を履いたりすると思います。経営における「リスク対策」の第一歩もこれと同じ。経営の中で、どのようなことが起こりえるのか予測することから始まるのです。

例えば、飲食店や食品製造業であれば、異物混入や食中毒ということは、常に想定しておかなければなりません。また、小売店で、お客様リストを整備して活用しようと思ったら、個人情報情報の漏えいは大丈夫かな？ となります。このように、あまり考えたくはありませんが、「万一の事態」というものをイメージすることによって、「それが起こらないようにするためにはどうすればよいただろう？」とか「起きてしまったら、どのような影響があるのだろうか？」と考えを発展させることができます。

それでは、どのようにして「何が起こるか」を見つければよいのでしょうか？ 1つには、ニュースで報じられている事件や事故を、「自分のところではどうだろうか」と置き換えて考えることです。冒頭に自然災害の話を記載しましたが、あるところで聞いた話では、「気候変動により自然災害が深刻化している」と認識されている方は8割以上の一方で、「自分の居住地が浸水エリアになっている」と認識している人は3割未満だそうです。一般論としては理解していても、我が事としては受け止められていないのが現状です。

たしかに、「こんなことが起こったら…」と考えることはできれば避けて通りたいところです。また、自然災害のように避けがたい事象があるのも事実です。しかし、万一の事態を考えておくことで、その発生確率を下げたり、避けられない事態であっても、被害や損害をできるだけ少なくしたりすることはできます。

まずは、身近なニュースから、自らの経営におけるリスクを考えてみてはいかがでしょうか？ また、多くの事例を見てきた中小企業診断士と検討することも効果的です。

【問い合わせ先】

埼玉県中小企業診断協会

ホームページ：<http://sai-smeca.com/>

電話：048-762-3350

Eメール：rmcsai@nifty.com